

(様式1)

令和5年度 岩手県立大野高等学校 学校評価報告書

校長： 千葉 美春

総合的な評価	スクール・ポリシーについて、生徒、保護者、地域へもっとアピールし、高校3年間の目標を共有し理解してもらう必要がある。今年度は、少人数校の利点を生かし、生徒一人一人に応じた指導を、他の機関の支援も受けながら、充実させることができた。その結果、不登校傾向の生徒や学校に適應することが難しいと思われた生徒も含め、全校生徒が欠けることなく卒業又は進級することができた。生徒の個々の成長に応じた指導の充実を図り、地域の期待に応える学校として継続していきたい。
--------	--

重点目標	達成指標	自己評価		学校関係者評価	改善方策
		評価項目及び実績等	達成状況		
1 基礎基本を定着させ、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ生徒の育成を目指す。	・「授業に関するアンケート」における生徒の満足度がすべての教科で90%以上	・授業に関するアンケート調査満足度(A+B)で、4項目で数科目80%以上90%未満の科目があった。	×	・少人数の授業であっても、理解力等にはかなりの差があるため、さらに丁寧で、わかりやすい授業への工夫や生徒同士が協働で学ぶ授業方法の改善が求められている。	・「わかる授業」、「主体的・対話的で深い学び」を目指し、互見授業や研修参加に積極的に取り組む。また、ICT等を活用し、生徒の自己評価や授業評価を実施し、授業改善に努める。
2 キャリア教育を通して生徒に人生設計力を培い、一人ひとりの進路実現を支援する。	・3年進路達成率100%	・進路達成率83%(19/23)	×	・大学受験を目指し一般受験に臨んでいる生徒が2名、体調不良や家族関係等の悩みから授業の欠席が多い生徒が2名いた。	・「個々の特性に応じた進路指導」について、教職員だけでなく、スクールカウンセラー、保健師、就職支援員、社会福祉協議会等の支援いただきながら、生徒の成長に合わせたキャリア指導を充実させる。
3 地域社会と連携し、地域の活性化や地域防災に貢献できる人材を育成する。	・学校評価「自己有用感の醸成」における生徒・保護者の満足度90%以上	・学校評価「自己有用感の醸成」 生徒96.8% 保護者95%	○	・学校行事・地域行事や総合的探究の時間の活動で地域の人と関わる機会を通して、地域貢献する意識を高めることができた。 ・久慈平荘との合同避難訓練は、感染症流行のため、今年度も実施できなかった。	・生徒が主体的に活動できる環境を整え、学校行事、地域行事、ボランティア活動、アルバイト等への積極的参加を促す。 ・久慈平荘と相談しながら、実施できる時期と方法を検討する。

(様式1)

<p>4 実行的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 学校評価「いじめ防止の取組」における生徒・保護者の満足度92%以上	<ul style="list-style-type: none">・ 学校評価「いじめ防止の取組」 生徒 98.4% 保護者 94.9%	<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none">・ アンケートや日々の生徒観察により、いじめを認知し早期に対応することができた。	<ul style="list-style-type: none">・ 生徒に年4回、保護者に年2回のアンケートに加え、生徒との面談を通して、生徒が相談しやすい雰囲気づくりや、居場所づくりに努める。
<p>5 地域に信頼される学校づくり、魅力ある学校づくりに取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 学校評価「学校生活」における生徒・保護者の満足度90%以上	<ul style="list-style-type: none">・ 学校評価「学校生活への満足度」 生徒 93.5% 保護者 91.7%	<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 地域の人と関わる機会を増やし、多くの人に大野高校生の魅力を知ってもらうことで、生徒・保護者の「学校生活への満足度」が高評価になったものと考えられる。	<ul style="list-style-type: none">・ 学校運営協議会や地域コミュニティと協働し、生徒が主体的に活躍できる機会を設け、学校の魅力を発信し続ける。